



市内2小学校で 新校舎が供用開始



岩谷堂小学校

平成22年9月から始まった岩谷堂小学校の校舎新築工事が24年1月25日に終了し、4月1日から供用を開始しました。

旧校舎は昭和33年建設。立地条件や通学の利便性を考慮し、さらに充実した教育環境を実現するため今回の新築工事としました。新校舎は、広い敷地面積を確保できる岩谷堂字一本松地内に移転。モチーフは蔵まちモールの「蔵」で、鉄筋コンクリート造りの2階建てになっています。校舎と併せて体育館も供用を開始。現在はプールを建設中で、7月には完成する予定です。

1 新校舎とともに供用を開始した体育館
2 木目を基調とした廊下
3 「蔵」をモチーフとした新校舎

【校舎概要】

- 構造 鉄筋コンクリート造り2階建て
 - 延べ床面積 609
 - 8・72平方メートル
 - 教室 普通教室19室、特別支援教室2室、特別教室11室、多目的教室3室
- ### 【体育館概要】
- 構造 鉄骨造り
 - 延べ床面積 113
 - 9・85平方メートル

【校舎概要】

- 構造 鉄筋コンクリート造り3階建て
 - 延べ床面積 406
 - 4・12平方メートル
 - 教室 普通教室13室、特別教室9室、多目的教室3室
- ### 【体育館概要】
- 構造 鉄骨造り
 - 延べ床面積 125
 - 0・67平方メートル
- ※24年度中に建設予定

真城小学校

平成22年9月から始まった真城小学校の校舎新築工事が23年12月28日に終了し、本年2月27日から供用を開始しました。2棟に分かれていた旧校舎は、北校舎が昭和37年、南校舎は54年に建設されたもの。校庭のスペースをより広く確保するため、1棟とする新築工事としました。新校舎は旧校舎と同じ場所に新築。3階建ての鉄筋コンクリート造りですが、本市産の杉も一部利用しています。

4 新しい教室で学ぶ児童たち
5 吹き抜けからホールに柔らかな光が降り注ぐ
6 1棟となった新校舎の外観

